

**医療費等分析で
明らかとなったこと**

高額(高点数)な医療の原因疾病は何か？

レセプト1枚の費用額が200万円以上の者の主疾病(一般・退職)

～平成16年4月～平成17年3月で一枚200万円以上請求のレセプト174件より分析

費用額	②		血管に関する疾患							その他				合計				
	血管に関する疾患	その他	虚血性心疾患	ペースメーカ	大血管	脳血管疾患	動脈閉塞	腎不全	糖尿病	がん	筋骨格系	その他						
1,000万円以上					1										1	1%		
600万円台	17	81%	4	19%	1										1	1%		
500万円台					3	1	3				1	50%				3	8%	
400万円台					1	1	4	1				1				3		
300万円台					64	42%	89	58%	12	1	1	1	1	1	1	1	1	26
200万円台					43	4	3	9	4	39	2	13	7	127	73%			
					31	3	2	3	1	1	11	29	36					
					100%	67%	27%	100%	50%	100%	100%	92%	92%					
					48	6	11	10	4	2	2	39	13	39	174			
					28%	3%	6%	6%	2%	1%	1%	22%	7%	22%	100%			
					血管に関する疾患							その他						
					81							93						
					47%							53%						
					①													
					血管に関する疾患							その他						
					81							93						
					47%							53%						

①200万円以上の高額な医療費がかかった者を血管に関する疾患とその他と区分してみると、ほぼ半数づつであった。

②次に400万円以上かかった者でみると、血管に関する疾患が81%、その他が19%と圧倒的に血管に関する疾患が多く、中でも「大血管に関する病気」が多いことがわかった。これは、長期間高血圧であった結果起こってくることが多い。

血管変化は、高血圧や高血糖などを背景に進むため、高額な費用がかかっている疾病のほとんどが予防可能であったと考えられる。